

令和 6 年度

事業所名 : あったかいごグループホーム東安庭 (1Fユニット)

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0390100642		
法人名	株式会社 三協メディケア		
事業所名	あったかいごグループホーム東安庭 (1Fユニット)		
所在地	〒020-0824 盛岡市東安庭1丁目23番70号		
自己評価作成日	令和6年7月16日	評価結果市町村受理日	令和6年11月7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/03/index.php?action_kouhvu

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は「共に和み 共に生きる」の理念のもと、利用者様に寄り添い、支え合いながら一緒に生活することを重点において日々支援しております。日常的に利用者様、ご家族とコミュニケーションを取り意向を伺い、可能な限り希望に近づけられるよう心掛けております。
協力医療機関や訪問看護と連携を取り、重度化や看取りにも対応しております。また、同一敷地内にある同法人のサービス付き高齢者住宅をはじめ近隣にある同法人の施設と、緊急時や行事の際はお互いに協力がとれる体制が出来ております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 いわたの保健福祉支援研究会
所在地	〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通2丁目4番16号
訪問調査日	令和6年10月8日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は2階建ての2ユニットで、同一敷地内には法人が運営するサービス付き高齢者住宅、デイサービスがあり、民家も隣接している。近隣には協力医療機関の医院と歯科医院があり、訪問看護ステーションとの医療連携体制も確立している。利用者の最期までその人らしさを大切に、看取りにも取り組んでいる。毎月家族に届けている「ご様子シート」には、利用者の日常の暮らし方が詳しく記載され、事業所の理念とする「共に和み共に生きる」が実践されている。職員にミャンマーからの技能実習生が2名おり、事業所内を切り絵や折り紙装飾などで活性化している様子が随所に見られた。ホールからは利用者の笑い声と職員の優しい声が聞かれた。2ユニットの所長を兼務する1階の管理者と2階の管理者の連携も図られ、新たな取り組みに関する意欲も高くより良いサービスを提供したいと言う意欲が感じられる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

事業所名 : あったかいごグループホーム東安庭 (1Fユニット)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「共に和み 共に生きる」を理念に掲げ、利用者様、ご家族の思いに寄り添いながら笑顔で生活できるよう取り組んでおります。	運営母体の共通理念である「共に和み共に生きる」をもとに、利用者の生活歴を踏まえてその人らしさに寄り添い、日常の生活が穏やかになるように全職員で理念を共有しながら支援している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	頻度にはばらつきはありますが、地域との交流を図っております。	今年度も新型コロナの流行が見え隠れしており、地域の方の参加は見送ってきて来たが、秋以降ハロウィンの催しとして、地域の保育園児が訪問する予定となっている。現状で他に事業所としてできることはないか検討している。	家族に郵送している、あったかいご通信の概要を回覧板などで地域の方に提供するなど、小さなお付き合いから拡大していくことを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	広報を通して利用者様の生活の様子から認知症の理解を図っております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の際は、町内会長、民生委員、ご家族、五月園地域包括支援センター、中野交番に参加を依頼し、サービス付き高齢者住宅と合同で行っています。事業所の状況や利用者様の状況、事故報告などを行い、出席者様より運営に関する意見や助言を頂いております。	町内会長や民生委員、地域包括支援センター、駐在所、入居者代表を委員とし、定期的に会議を開催している。ヒヤリハットや事故についても報告し、出席者から意見をいただくことも多い。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	各種申請時は電子申請や担当課に直接出向き、分からない事については電話や窓口にて相談に応じて頂いております。	市との連絡はメールや電話で行なっているが、不明点の確認や相談があれば介護保険課に指導を得ており、顔の見える連携が取れている。地域包括支援センターとは運営推進会議の席で、様々な地域の最新の情報を提供していただいている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人で「身体拘束排除宣言」掲げ、職員一丸となって身体拘束をしないケアに取り組んでおります。身体拘束適正化に関する指針を基に委員会の定期開催や年2回の研修を実施する事で身体拘束をしないケアについて再確認をしております。	身体拘束適正委員会を中心に職員全員で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中、玄関は施錠せずに利用者を見守り、外に出たそうにしている利用者がいれば職員も一緒に近場を散歩している。年2回の事業所内研修では、管理者を講師として拘束をしないケア、言葉による拘束などについて学習し、ケアの統一に努めている。ミャンマーからの技能実習生も必死に勉強し、認知症ケアの基本である「そのひとらしく」について学んでいる。	

令和 6 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : あったかいごグループホーム東安庭 (1Fユニット)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止に関する資料を回覧する事や年2回の研修を実施する事で学びの機会を設けております。また、不適切なケアを見かけた場合は職員間で注意し合うようにしております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人が選定されている利用者様がいらっしゃる事もあり、後見人と連絡を取り合い利用者様を支援しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居の際は、ご家族へ重要事項説明書等の説明を行い、ご納得頂いた上で契約書を取り交わしております。また、改定の際も文書にて説明、同意書を提出して頂いております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会等で来所された際に、意見交換を行うようにしております。また、玄関に意見箱を設置しており、ご意見を頂いた際には運営に反映させるようにしております。	利用者からの要望は直ちに対処するようにし、出来ない場合でも職員間でその要望を共有している。家族からは面会時や電話などで意見や要望を伺えるよう、話し合いの機会を持つようになっている。広報紙や居室担当作成の「ご様子シート」や広報紙は家族から好評を得ている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年2回の人事考課の際に面談を行い職員の意見、要望、提案などを聞くようにしております。また、職員会議の際にも意見交換を行い業務の改善に活かしております。	毎月の職員会議では利用者のケアの在り方に関する意見や提案など、何でも話せる職場風土がある。節電や節水、利用者の負担減につながる無駄の少ない介護用品の利用などが提案されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得や経験年数に応じた期末手当の支給、系列事業所との交流、契約職員の正規職員登用制度など向上心を持って働けるよう環境整備に努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	役職に応じた研修会を行っており、役職者以外の職員も内部・外部研修に参加出来る機会を確保するようにしております。また、技能実習生を受け入れており、指導する職員も学ぶ機会を作っております。		

事業所名 : あったかいごグループホーム東安庭 (1Fユニット)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型サービス協会に加入し、情報交換を行っております。また、系列事業所と定期的に連絡を取り合う事でお互いにサービスの向上に取り組んでおります。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご利用者様とお会いし、状態を確認するようにしております。また、ホームでどのように生活して行きたいかご利用者様にご意向をお聞きしております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	電話や直接お会いして困っている事やご意向をお聞きし、できる限りご意向に沿った対応が出来るよう心掛けております。また、体調の変化や事故発生時など都度ご家族様へ連絡し状況を報告しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前にご利用者、ご家族の意向、身体状況を確認し、必要な支援の方法を考え提供するように努めております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様の出来る事に着目し、無理の無い範囲で家事等の役割を担って頂き共に生活しております。また、昼食は職員も一緒に食べる事で暮らしを共にする雰囲気作りを心掛けております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様へ無理のない範囲で定期的な面会を呼び掛けております。また、通院時の同行や運営推進会議への参加もご協力頂いております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	事前にご予約を頂ければ、短時間で居室での面会を可能としております。	利用者の面会はほぼ家族が多い。最近、町内の老人クラブの仲間の方の面会があり、懐かしんでいた。利用者は、馴染みの床屋や定期的に訪れる理容師、訪問看護師との会話も楽しんでいる。	

事業所名 : あったかいごグループホーム東安庭 (1Fユニット)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様間で会話が難しい時やトラブルになりそうな時は職員が介入し関係を取り持つように対応しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も他施設、病院等、転出先と情報交換等、適宜行っております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居の際にご利用者様、ご家族様から思いやご意向を確認しております。思いやご意向を伝えられない方は、その方にとって心地よい事、嬉しい事を全職員で考え共有してケアを行っております。	家族に電話したいと希望される利用者もおり、希望に沿うように対応している。1階2階とも意思表示できる方が多く、職員の問いかけに答えてくれる。意思表示をうまくできない利用者の表情や行動の様子から思いを把握し、職員間で共有しながら希望や意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様、ケアマネージャー、利用していた施設等から情報の収集、情報交換、共有を行い把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録と生活日誌を活用し一人ひとりの状態を把握できるように努めております。また、カンファレンスを開催し職員間で情報の交換、共有に努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的カンファレンスを開催し、職員間で情報の交換、共有を行っております。また、支援の方法について検討しており、概ね3～6か月毎に介護計画を見直しております。身体状況に大きな変化があった際もその都度計画を見直し作成しております。	介護計画は利用者、家族の希望を取り入れて、ケアマネージャーが概ね6か月毎に作成している。職員会議でモニタリングを行い職員間で情報の共有を図りながら、必要に応じ修正を行っている。その際、居室担当作成の「ご様子シート」も参考に、一日の過ごし方なども考慮している。変更時は利用者本人と家族に説明を行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や状態を個別に記録し、申し送り時等、情報の交換、共有に努めております。また、申し送りノートを活用し、情報共有をしております。		

令和 6 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : あったかいごグループホーム東安庭 (1Fユニット)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者様の状況を把握する事、ご家族様からご相談頂いた事等を考慮し、その時に出来る最善なサービスを提供出来るよう職員間で連携を図っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域包括支援センターや町内会に当事業所を認知してもらえよう広報をお届けしております。有事の際はご協力頂けるよう呼び掛けております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の際、ご利用者様、ご家族様の同意のもと近隣の協力医療機関に切り替え、隔週で訪問診療して頂いております。急病の際は、職員対応で診察し、ご家族様にご報告しております。	利用者は、協力医療機関による隔週の訪問診療を受診している。今年から訪問歯科診療も可能となったが、入居する前からのかかりつけの歯科医院に通院している利用者が2名いる。訪問看護も毎週あり利用者の健康管理の協力を得ている。日常の健康状態は「ご様子シート」で家族に報告している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションと医療連携体制をとっており、毎週火曜日に訪問し健康管理、相談、急病時等は随時対応(電話、訪問)して頂いております。また、医師の指示で個別での対応も行っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院の際は入院先と情報交換を行い、入院中の生活が安心したものとなるように、退院後は施設での生活がスムーズに送れるように努めております。入院中は可能な限り状況確認を細目に行っております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居の際に看取りを含めた説明を行い、ご家族様にご意向を確認しております。また、状態の変化が見られた際は随時ご家族様に報告を行い、医師、訪問看護を含め対応について確認する機会を設けております。	重度化、看取りに対する指針により利用者、家族に入居時に説明を行っている。今年度は9月までに2名の方の看取りを行った。その時期に入ると身なりや清潔、排泄を重点に、その人なりを大切にケアすることを心掛けている。家族の面会制限もなく、医師や訪問看護師と連携を図りながら、職員も慌てることなく落ち着いて対応している。	

事業所名 : あったかいごグループホーム東安庭 (1Fユニット)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時の対応方法を施設内に掲示し、職員が把握できるようにしております。避難訓練の際には、AEDの使用法や救命救急についての訓練を行っております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難計画、事業継続計画を基に定期的に利用者様を交え訓練を行っております。非常時の持ち出し袋を玄関に常備しており、非常食等は駐車場の物置に備蓄しております。有事の際は、同一敷地内のサービス付き高齢者住宅の職員と協力する体制をとっており、町内会にも協力を要請しております。	避難訓練は火災を想定した避難訓練を年2回計画し、3月と9月に火元を2階の風呂場に想定して実施した。有事の際は同一敷地内にある他事業所の職員から避難誘導の協力を得ることとしている。今年は、発電機を購入をする予定である。	敷地内の他事業所の職員との合同訓練を実施し、避難訓練には町内会の人たちの参加を募り、日頃から協力を得る仕組みを作ることを期待します。さらに連絡網による非常召集訓練を実施することも期待します。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	羞恥心に配慮した声掛けや、人生の先輩として敬意を持った対応を心掛けております。接遇に関する指導を適宜行っております。	人にされて嫌なことはしないことを想像力を働せながら敬意をもって対応するように心がけている。2名の技能実習生も、人権、尊厳、プライバシーの保持の意味を理解して対応している。入浴時思いやりをもって羞恥心に配慮し、利用者への支援が流れ作業にならないように努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様にご意向を確認し支援するよう努めております。うまく言葉で表現できない方や理解力に難がある方には選択できるような声掛けを行うよう工夫して対応しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴、排泄、起床・就寝時間、余暇活動等、声掛けはするものの無理強いせず、ご利用者様のご意向やペースを配慮した対応を心掛けております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	隔月での訪問理容、爪切り、髭剃り等の整容のお手伝いをさせて頂いております。		

令和 6 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : あったかいごグループホーム東安庭 (1Fユニット)

自己	外部	項目	外部評価		
			自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容	
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	朝・夕は配食サービスを利用し、昼食は利用者様からご希望を聞きメニューに取り入れております。季節にちなんだ献立を考え利用者様に楽しんで頂けるよう努めております。利用者様にははでる範囲でテーブル拭きや食器洗い、食器拭き等を手伝って頂いております。	1階2階とも配食サービスを利用し献立内容は同じであるが、配食の内容によっては職員が1品適宜追加する場合もある。朝夕のご飯、味噌汁、夕食の副菜、昼食は職員が調理している。ホールには3卓のテーブルがあり3人くらいずつ座り職員も一緒に食事している。9月に合同の敬老会を開催し、職員の手作りの赤飯、煮物、天ぷら3名の利用者の米寿をお祝した。ホットプレートで、手作りのおやつを作ることが多く利用者も一緒に楽しみながら参加している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	記録表にて1日の食事量・水分量が把握できるようにしております。また、定期的に血液検査を行っており身体の状態も把握出来るようにしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	昼食前には口腔体操を行い、誤嚥予防に努めております。また、毎食後に居室で口腔ケアを行い口腔内の清潔保持に努めております。また、8月より毎月の訪問歯科を実施する事により、より質の高い口腔ケアを提供する事が出来ております。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表で排泄の間隔、パターンを把握しながらトイレ誘導を行い排泄の自立に近づけるよう支援を行っております。パットやオムツの適正使用についてカンファレンスの際に検討しております。	1階は6名2階では2名が自分で排泄できており、布パンツを使用している人は2名だが、紙おむつを使用している利用者はいない。日中は排泄表を活用して定期誘導している。2階には誘導や介助が必要な利用者が多く、夜間にポータブルを使用している方が1名いる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食材を取り入れたり、水分を多く摂取して頂けるよう細目に種類を変え提供しております。また、毎日朝食の際にヨーグルトを提供したり、ラジオ体操・ホール歩行で身体を動かすよう働きかけ便秘予防に努めております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	基本、週2回日中のみ入浴を行っており、体調を考慮した上で、できる範囲でご利用者様のご希望に応じ適宜対応しております。重度の方には職員2名で対応しております。入浴の際は歌を歌ったり、会話を楽む事ができるよう心掛けております。	週2回午前中の中の入浴を基本としている。入浴を嫌がる方には無理せず、曜日を変えたり介助者を変えたりして対応している。3日間入浴できなかった場合は清拭をし、清潔保持を心掛けている。	

令和 6 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : あったかいごグループホーム東安庭 (1Fユニット)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夕食後より照明の調節を行ったり、テレビの音量を調節したりして休息や安心して入眠できるような環境を整えております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を個別にファイルし、内服薬の理解を図っております。状態の変化に注意し、主治医、訪問看護へ状態報告、相談を行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の自信ややりがいにつながるよう役割を持って頂いたり、塗り絵、計算、歌唱、散歩等、利用者様が個人や集団で楽しめるような余暇時間を設け、生活に張りや気分転換を図れるように支援しております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。 又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	大人数での外出は難しい状況ではありますが、感染予防に配慮しながらミニドライブや施設周辺の散歩を行っております。	春と秋にミニドライブに出掛けている。家族で外食をしてくる利用者もいる。1階にウッドデッキがあり、天気の良い日は外気浴をしながら家庭菜園に出て野菜を収穫している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持つ事の重要さは理解しているものの、トラブル防止のため現金の持ち込みはご遠慮頂いております。希望される方についてはご家族と話し合い金額を決めた上でご利用者様がお持ちになられております。外出が難しい状況である事から、使用する機会はありません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様へ年賀状を毎年お送りしております。ご希望があった際は、電話をつないだり、手紙のやり取りができるよう支援しております。携帯電話をお持ちの方もいらっしゃいます。		

令和 6 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : あったかいごグループホーム東安庭 (1Fユニット)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じさせる装飾物や行事の写真、利用者様の作品を掲示し心地よい場所となるよう工夫しております。エアコン、空気清浄機、加湿器等で調整する事により快適な環境を提供できるよう努めております。	ホールは食堂も兼ねた寛ぎの場で、自然採光で開放感がある。壁には実習生の折り紙の張り絵や装飾品が飾られている。テレビの前には1人掛け用のソファと2人掛け用のソファが配置され、利用者はホールで大半の時間をゆったりと思い思いの過ごし方をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人で過ごしたい方や少人数で会話を楽しまたい方など各々が心地よく過ごせるよう事務所にベンチ、ホールにはソファやテーブルを配置しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者様の慣れ親しんだ環境に近づけられるよう使い慣れた物を持参頂き配置しております。ご入居後はご家族様のお写真やご利用者様の作品等を掲示する事で居心地の良い環境になるよう工夫しております。	電動ベッド、洗面台、クローゼット、エアコンが備え付けになっている。使い慣れたものとして、小さなお仏壇を持参している利用者もいる。家族の写真やお気に入りのものを飾り、各部屋とも整理整頓がなされている。掃除は職員が行なっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内はバリアフリーとなっており、所々に手すりが設置しており安全に配慮しております。トイレや居室に目印や表札をつけ認識しやすいよう工夫しております。		